

1. 科目名 (単位数)	企業統治論 (非営利企業を含む) (2 単位)	3. 科目番号	SBMP3116
2. 授業担当教員	麦島 哲		
4. 授業形態	講義を主にしながら質問、報告、討論の時間をつくり進める。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「経営学」や「経営戦略論」も履修することが望ましい。		
7. 講義概要	<p>1) 企業の健全な経営のため最も重要な機能は企業統治だといわれている。まず企業統治 (コーポレート・ガバナンス) とは何かについて理解を深める。</p> <p>2) 企業という場合、株式会社などの営利企業のほかに非営利企業(NPO 法人など)、最近では社会的企業と表現される企業があるが、株式会社を中心としつつ、各種の企業経営に共通の機能として企業統治機能の内容を解明する。</p> <p>3) 企業活動のグローバル化にともない、日本をはじめアメリカ、中国、韓国、ドイツなどの企業統治の特徴を具体的にとりあげ、国際化への知的対応を準備する。</p>		
8. 学習目標	<p>将来、企業 (営利企業、非営利企業) へ就職したり、企業を設立、運営したり、企業と関係することが多いと思われ、そのような意味から学習の目標としては、1) 企業の立場から企業統治を考えるとともに、2) 企業の利害関係者 (ステイクホルダー) の立場から、株主、従業員、顧客、地域社会などの視点から考え、3) 数多くの具体的な事例をとりあげ、問題への認識を深めることを目標とする。</p>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	講義で取り上げた学習した問題または関連するテーマについて課題を示し、検討する。		
10. 教科書・参考書・教材	加護野忠男他 コーポレート・ガバナンスの経営学 有斐閣、2010		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 企業統治に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</p> <p>2. 経営学的な思考が身についたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <p>1 授業への積極的参加 総合点の30%</p> <p>2 期末試験 総合点の40%</p> <p>3 課題レポート 総合点の30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>1. 授業には積極的に参加すること。</p> <p>2. 授業中の私語厳禁、携帯電話の使用厳禁</p>		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 序章 会社統治論	事前学習	企業統治論とは
		事後学習	多様な会社感
第2回	第1章 株式会社と会社統治論	事前学習	株式会社制度の特徴とは
		事後学習	会社統治に関わる歴史
第3回	第2章 株式会社の仕組みと会社統治	事前学習	会社統治とは
		事後学習	会社制度と統治
第4回	第3章 アングロサクソン型の会社統治	事前学習	多様な資本主義とは
		事後学習	米国の会社統治
第5回	第4章 ライン型の会社統治 日本を中心に	事前学習	日本の会社統治とは
		事後学習	経営者を基盤として (任命と牽制)
第6回	第5章 日本の会社統治の過去	事前学習	株式会社制度とは
		事後学習	株主主権について
第7回	まとめ 諸外国の企業統治の例	事前学習	日本の企業統治の特徴
		事後学習	企業統治概念: 諸外国との比較
第8回	第6章 日本の会社統治の現在 日本が間違った時代	事前学習	従来の企業統治とは
		事後学習	これからの企業統治とは
第9回	第7章 コーポレート・ガバナンスと資本コスト	事前学習	企業と投資家とは
		事後学習	資本コストとコーポレート・ガバナンス
第10回	第8章 コーポレート・ガバナンスと事業投資	事前学習	資金の流れと投資決定とは
		事後学習	M&Aの論理
第11回	第9章 コーポレート・ガバナンスと資本政策	事前学習	エージェンシー問題とは
		事後学習	コーポレート・ガバナンスの評価
第12回	第10章 日本企業の会社統治のもう一つの姿	事前学習	従業員による牽制とは
		事後学習	従業員・事業法人による牽制状態
第13回	第11章 内部統制と会社統治	事前学習	内部統制とは
		事後学習	内部統制システムの問題点
第14回	まとめ 第6章から第11章までの重要問題	事前学習	第6章から第11章までの復習
		事後学習	重要問題の整理

第15回	全体のまとめと課題整理	事前学習	企業統治とは
		事後学習	企業統治について、整理する
期末試験			